

6-16 中国・四国地方の地殻変動

Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

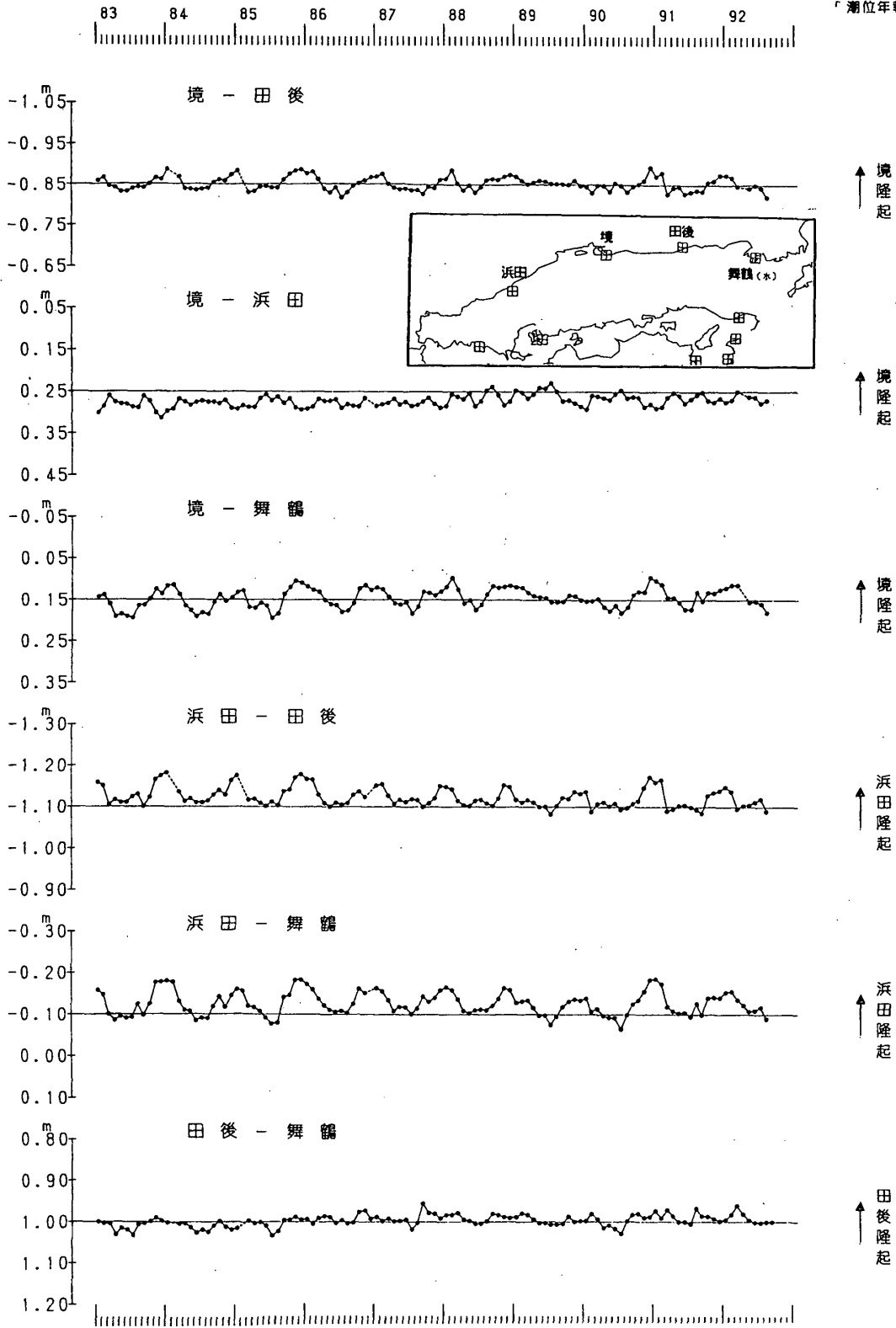
国土地理院
Geographical Survey Institute

中国・四国地方における各験潮場間の月平均潮位差及び菱形基線測量の結果を報告する。

第1図は、浜田・境・田後・舞鶴各験潮場間の月平均潮位差の結果である。顕著な変化は見られない。第2図は、徳山・呉・松山における各験潮場間の月平均潮位差である。呉、徳山の沈降がみられる。第3図は、四国地方の各験潮場間の月平均潮位差である。室戸岬の沈降が顕著である。第4図は、鳥取菱形基線測量結果である。12年間の比較では、ほぼ東西方向の圧縮歪が顕著である。

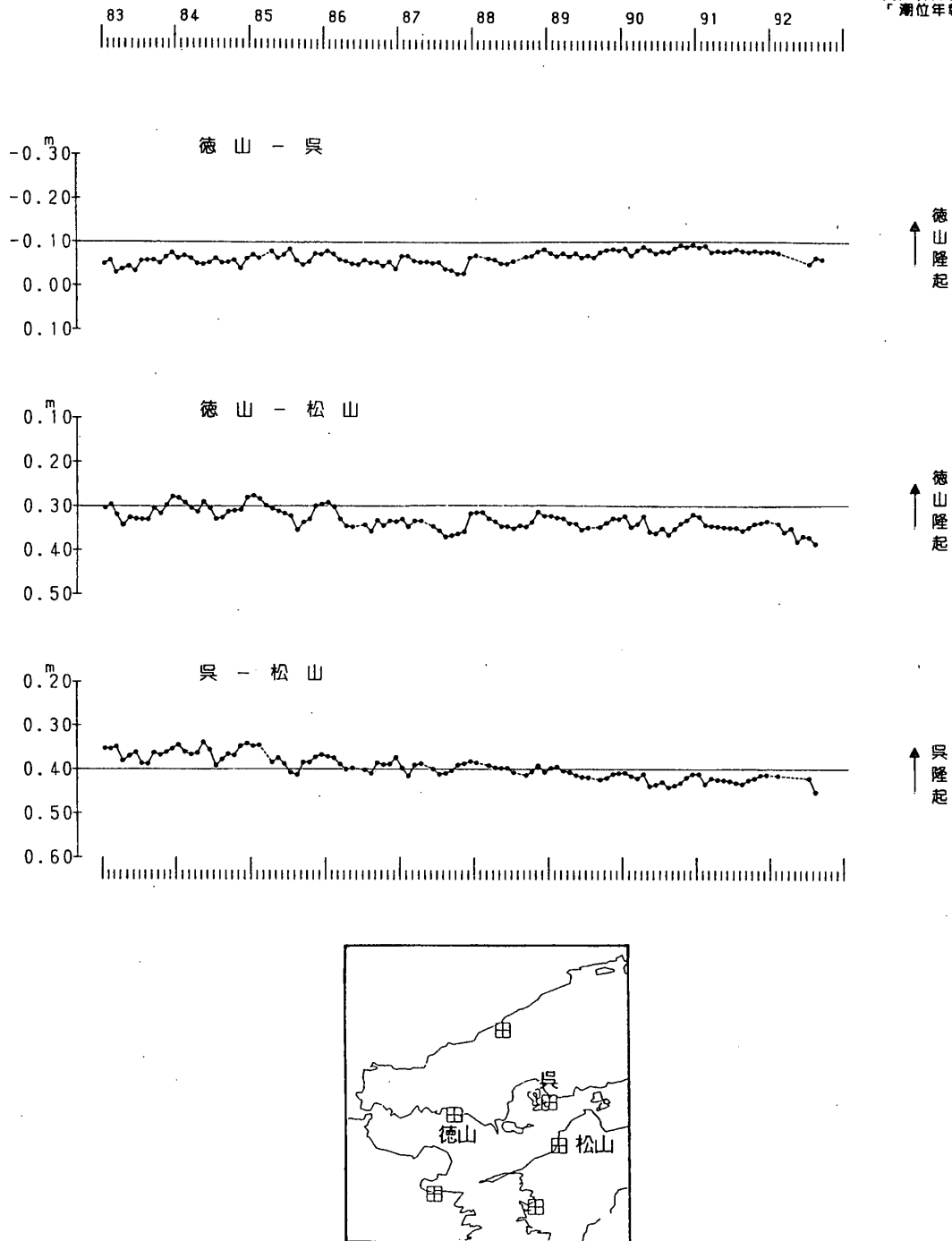
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，**41**（1989），453-457.
- 2) 国土地理院：中国地方の地殻変動，連絡会報，**48**（1992），423-435.



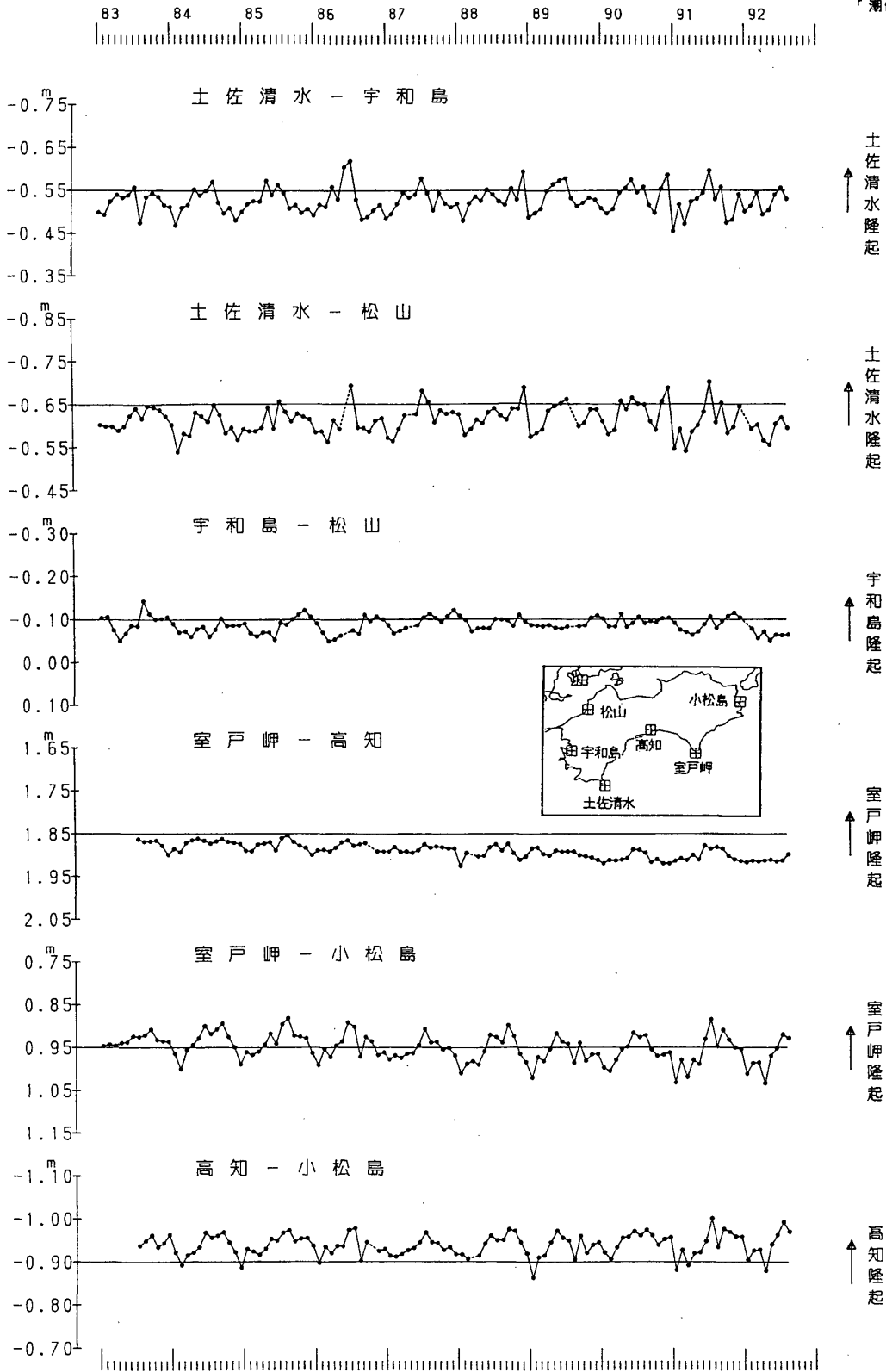
第1図 浜田・境・田後・舞鶴各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 1 Differences in monthly mean sea levels between the Hamada, the Sakai, the Tajiri and the Maizuru tide stations.



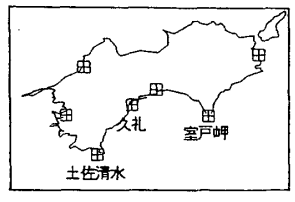
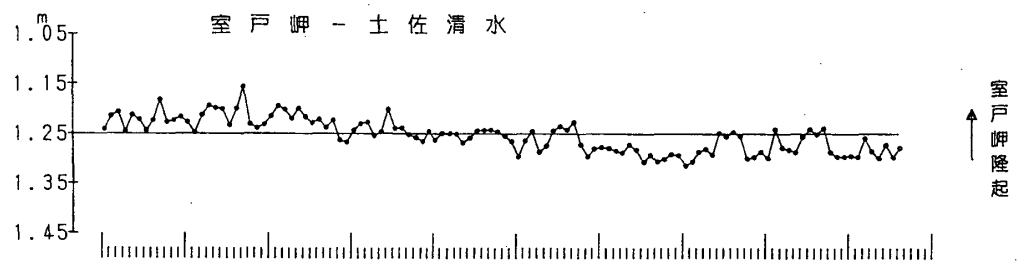
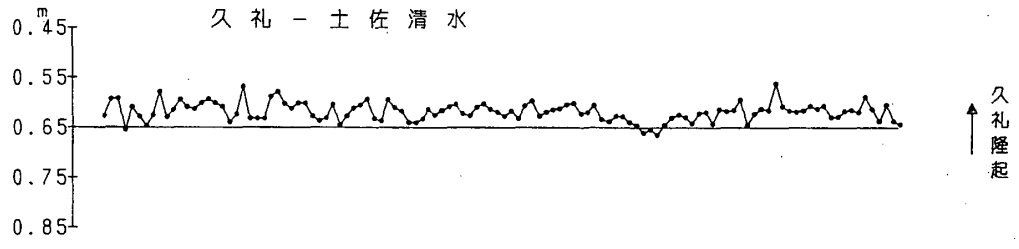
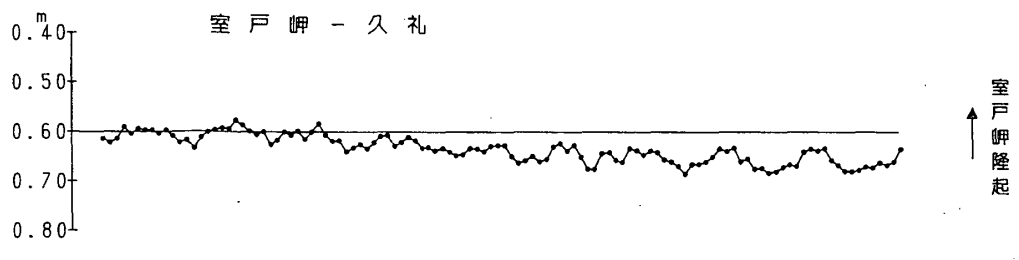
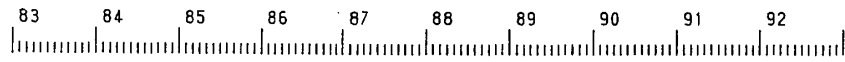
第2図 徳山・呉・松山各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 2 Differences in monthly mean sea levels between the Tokuyama, the Kure and the Matsuyama tide stations.



第3図 四国地方の各験潮場間の月平均潮位差

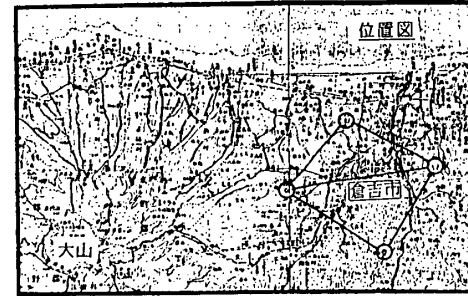
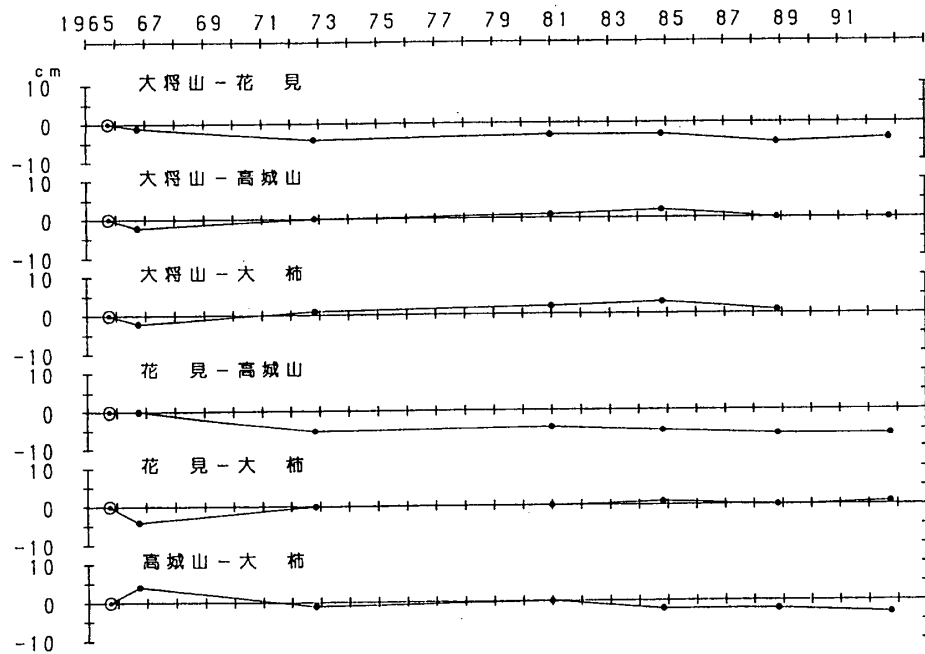
Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels of tide stations in Shikoku district.



第3図 つづき
Fig. 3 (Continued)

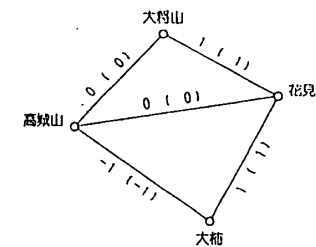
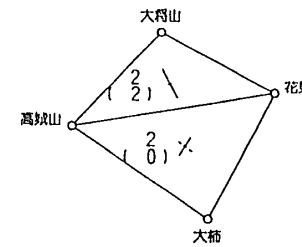
区 間	測 定 年 月	1965 08	66 08	72 09	80 11	84 09	88 09	92 08
大得山 ~ 花見		7,648.66	.65	.62	.63	.63	.61	.62
大得山 ~ 高城山		7,571.43	.41	.43	.44	.45	.43	.43
大得山 ~ 大柿		11,370.63	.61	.64	.65	.66	.64	
花見 ~ 高城山		12,017.57	.57	.52	.53	.52	.51	.51
花見 ~ 大柿		8,343.29	.25	.29	.29	.30	.29	.30
高城山 ~ 大柿		9,647.47	.51	.46	.47	.45	.45	.44

辺長の経年変化



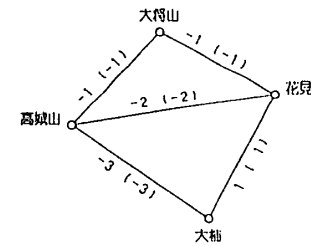
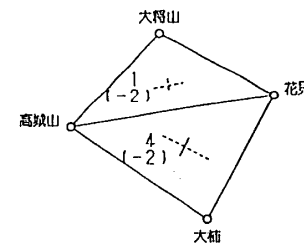
水 平 歪
1992. 8 - 1988. 9

辺 長 変 化
1992. 8 - 1988. 9



水 平 歪
1992. 8 - 1980. 11

辺 長 変 化
1992. 8 - 1980. 11



2×10^{-6} 単位 } 主軸
 2×10^{-6} 単位 }
 縦横 最大せん断歪 10^{-6}
 () 歪率変化率 10^{-6}

単位 cm
 () $\Delta S/S$ 単位 10^{-6}

第 4 図 鳥取菱形基線測量結果

Fig. 4 Results of precise distance measurements in the Tottori rhombus baselines.